

# 目的に合わせたデバイス 導入による職場の近代化



## モバイルイノベーションでビジネス オペレーションを変革

世界中の組織が職場を近代化させようとモバイルテクノロジーを導入しています。職場にモバイルテクノロジーが加われば、ユーザーはこれまで以上に多くの場所で生産性を発揮できるようになり、仕事は劇的に変化します。

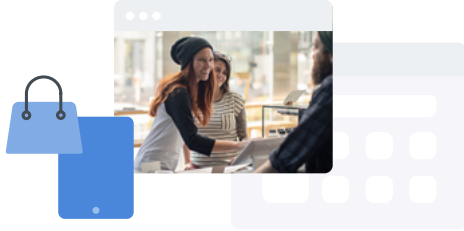
仕事において、モビリティを構成する要素は大きく3つ：

- > 手軽に持ち運べるiPhoneやiPadのような携帯型**デバイス**
- > 外出先やオフィス以外の場所で仕事をする**エンドユーザー**
- > LOB (Line of business) オペレーションの強化や、顧客や提携先と直接やり取りするためにテクノロジーを配布、活用する**組織**

このホワイトペーパーでは、目的に合わせて導入されるデバイスなどモビリティユースケースに焦点を当て、モバイルイノベーションの最先端を行く業界を紹介しつつ、組織が職場の変革を成功させるために克服しなければならなかった課題について議論します。

- デスクレスワークフォースの概要
- デスクレスデバイス構成の最適化
- デスクレスワークフローの最大化
- デスクレスな働き方の採用
- デスクレスなモバイルワークフォースをサポートするJamfソリューション

モバイルテクノロジーは、業務の最新化や顧客対応の強化を目的として、幅広いユースケースで採用されており、多くの場合、モバイルデバイスは次のいずれかの設定で職場に採用されています：



### 前線に立つタスク指向ワーカー

- > **目的のため：**特定の用途のために導入されるデバイスとして（POSなど極めて具体的で限定された用途のためのiPadなど）



### どこでも仕事、情報にフォーカス

- > **人のため：**従業員の主要なコンピューティングデバイスのサブとして（個人の生産性を向上させる目的でMacBookと一緒に使用されるiPhoneなど）



## 出発点

最新テクノロジーで社員を賦活した組織は、「モバイルデバイスを導入したが、それを使って何をすればいいのか？どうやって始めればいいのか……？」という課題に直面します。

組織やモバイルテクノロジー導入で生じる課題にはさまざまなものがあります。例えば：

- 導入ユースケースの明確化（人 vs. 目的）
- 適切な構成と長期的に維持するためのデバイス登録
- 労働者の生産性をサポートするLOBアプリの導入
- デバイスのアクセス管理とセキュリティのためのユーザ識別
- 規制および組織基準に準拠するためのデバイス構成
- ビジネスを混乱させる恐れのあるリスクの管理
- 登録デバイスの許可された認証済みユーザと重要なビジネスアプリケーションの接続
- タスクの自動化と発生した脅威の修復

# 目的のためにデバイスを使用する従業員

**世界の労働者の大半(80%、27億人)は、デスクに座って仕事をしていません。**ここで私たちが言っているのは、オフィス外で働くりモート従業員ではなく、職務が本質的に機動的、流動的な従業員のことです。

ヘルスケア、運輸、リテール、教育、製造、フィールドサービス業界において、デスクレスワーカーは、部屋から部屋、乗り物の中、広いオープンスペースや屋外など、移動しながら仕事をしています。このような従業員にとってモバイルデバイスは、しばしば唯一のワークプラットフォームであり、ゆえに、彼らが効率的かつ効果的に目的を達成できるよう、最適化されなければなりません。そして、モバイルワーカーがテクノロジーと接する際は、通常タスク指向で時間的な制限があります。

またデスクレス環境は、テクノロジーを“隠す”ことで、エンドユーザへの技術的負担を減らしながら、従業員が必要とするタスク指向のツールに素早く接続できるようにするという固有の課題も抱えています。

**組織はツールでモバイルワーカーの仕事を効率化させるためのサポートを必要としており、一方で多くのリモートワーカーたちは自分たちが使用するテクノロジーから十分なサポートを受けれていないと感じています。**



**デスクレスワーカーの60%以上**が、満足していない、あるいは使用しているテクノロジーが改善されるべきだと感じています。

**どうすれば従業員と彼らの仕事をもっと上手く結び付けることができるでしょうか？**

現在販売されているモバイルデバイスは、一般消費者を念頭に置いて設計されているため、組織はモバイルデバイスの機能性をビジネスニーズに合わせて拡張する必要があります。これは次のようなソリューションで達成することができます：

- 共有デバイスモデルを含め、OTAでプロビジョニングし、タスク効率を最適化
- デバイスの使用状況を管理し、セキュリティを確保&経費を削減
- 冗長なIT関連プロセスの簡素化
- エンドユーザの技術的負担の軽減
- エンドユーザをアプリケーションやリソースに接続
- ワークフローに特化した統合の提供

## 個人用モバイルデバイス とチーム用モバイルデバイス

大手多国籍メーカーのデスクレスユースケースを見てみましょう。この組織は、デジタルトレーニングや生産性アプリケーションを提供する製造施設向け分散型共有デバイスソリューションの開発、テスト、改良を望んでいました。まずはユーザであるデスクレスワーカーと最も関連性の高いデバイスであるiPadの体験改善に着手しました。チームは、iPadに入っているアプリケーション、つまりデスクレスワーカーが日常的に使用するアプリケーションと彼らをつながねばならず、そのためには、シンプルなデバイスプロビジョニングワークフローを通じて、デバイスを各ユーザのニーズに合わせてカスタムできる技術を導入する必要がありました。結果、従業員は製造現場にあるどのデバイスを手にとったとしても、ネットワーク認証情報を必要とせず、必要なリソースに即座にアクセスできるようになりました。デジタルソリューションは従業員に力を与え、労働体験を改善し、製造現場の業務効率を高めました。

# デスクレスデバイス構成の最適化

組織は、デスクレスユースケースをより効率化し、ワークフローを簡素化するためにモバイルデバイスを活用しようと考えてでしょう。しかし、デスクレスシナリオでより最適なパフォーマンスを発揮するためには、これらのツールをどのように導入し、管理し、セキュリティ管理するのが最適かを解明する必要があります。

**デスクレスで働くモバイルファーストの社員は、(時には1日に何度もユーザが変わったとしても) 安全性を維持しながら、終日彼らと共に移動する、合目的に設計されたツールを求めています。**

組織は、ITの複雑さを軽減し、冗長なプロセスを自動化し、ワークフローを簡素化することで、ITチームやオペレーションチームからエンドユーザまで、より生産性の高い労働力を引き出すテクノロジーを見つける必要があります。

デスクレス環境における典型的なデバイス管理のニーズには、以下のようなものがあります：

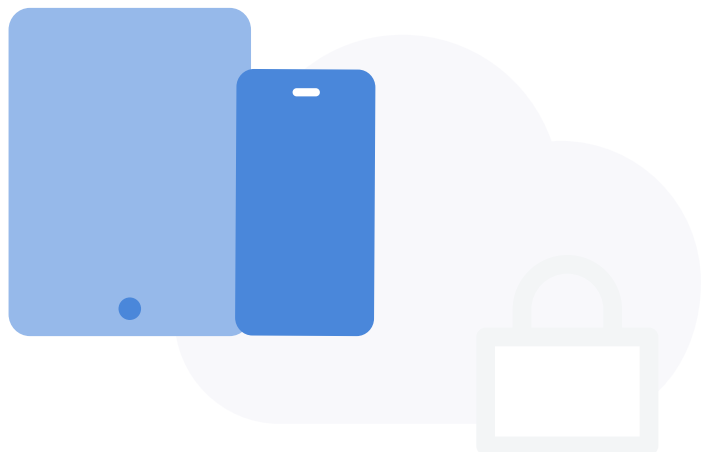
- 管理・セキュリティタスクの自動化
- OTAによるデバイスプロビジョニング
- 新しいオペレーティングシステム(OS)アップデートと生産性改善アプリとの親和性
- 認証ユーザと生産性アプリの接続

POS、臨床コミュニケーションツール、フライト前のチェックリストなど、大規模かつ重要な業務にアプリケーションを導入する際は、この機能性を一元化し、繰り返し利用できるようにする必要があります。

このようなユースケースに特有のニーズ：

- **共有デバイスの使用**：病院での臨床コミュニケーションデバイス、製造現場でのシフトワーカー
- **役割ごとの構成に応じてカスタマイズされたデバイスのプロビジョニング**：デバイスの状態を把握し、フリート内の他のデバイスと区別する機能
- **規制業界のデバイスのコンプライアンスを検証するワークフロー**：小売のデバイスはiOSまたはiPadOSの正しいバージョンとPOSアプリをサポート
- **業界固有のセキュリティ要件への対応**：小売業のPCIDSS、ヘルスケア業界のHIPAA ([詳しくはセキュリティフレームワークホワイトペーパーを参照](#))
- **コンテンツフィルタリングとデータキャッピング**：アクセスされるデータの種類を制御し、セルラーデータの消費を管理
- **接続性に問題がある環境での運用**：アプリケーション接続の中断を最小限に抑制
- **他のプラットフォーム、ツール、ワークフローとの統合**：従業員をすべてのワークリソースに接続

求められている結果は、生産性を向上させるシームレスなIT管理とテクノロジーとのシンプルなインタラクションです。



# デスクレスワークフローの最大化

従業員の視点からすれば、テクノロジーは暮らしを容易にするものであって、複雑にするものであってはなりません。

最低限のトレーニングや実践のみで、即急に使いこなせるようにならない場合でも、新たなテクノロジーに圧倒されるのではなく、ツールのメリットを享受できることが彼らにとっての理想です。

効果的なサポート、セキュリティ、管理を備えたテクノロジーは、仕事の複雑さを軽減し、従業員の仕事に対する満足度や職場とのつながりを高めます。

理想とされるデスクレスワーカー向けのビジネスソリューションとは、箱から出してすぐに使えること、テクノロジーを隠せること、従業員をタスク指向のツールに迅速に接続できること、現在のプロセスをデジタル化&自動化し、より効率的なワークフローを構築できることです。

モバイルテクノロジーは以下のような幅広いビジネス目標の達成もサポートします：

- コンプライアンスとセキュリティ基準の遵守
- 従業員の研修と開発
- 時代に遅れずついていく、市場競争力の維持
- エクセルや手動プロセスに依存したインベントリ管理とロジスティクスからの脱却
- よりスピード感のあるコミュニケーションで会社とリーダーシップの間により緊密なつながりを構築

「調査に参加したデスクレスワーカーの70%が、活用できるテクノロジーが多いほど、その分仕事もうまくいくと回答。利用できるテクノロジーが多いほど恩恵が大きいと感じる業務は、コミュニケーション、オペレーション、ロジスティクス、セットアップ、トレーニングなど。」

- 出典 [Emergence: 2020 state of the deskless workforce](#)

## 同じ技術スタックでデバイスの管理とセキュリティを行うことの重要性

Jamfは以下を通してユーザが使いやすいシンプルなApple体験を職場に提供します：

- 一貫した導入体験の提供
- アクション可能な洞察
- 一貫したポリシーコントロール
- サードパーティとの一貫した統合
- より高い業務効率と投資収益率

デバイス、ユースケース、労働環境に関係なく、一貫した技術スタックでApple製品のデバイスの管理とセキュリティを行えるため、組織はより高い業務効率を実現できます。

# デスクレスを採用し...

## ...従業員と仕事を結びつける方法を革新する。

デバイス、ユーザ、データ、ワークフローに関して、組織内のチームはそれぞれ特有の課題を抱えており、デバイスは、彼らが効率的に目標を達成できるように最適化されなければなりません。



### セキュリティチーム

セキュリティと法務チームに、デスクレスシナリオで使用されるデバイスの詳細な可視性を提供し、制御できる力を与える



### ライン部門 (LOB) リーダー

分散化されたデバイス管理やセキュリティに頼ることなく、デスクレスワーカーをエンパワーするのに必要な能力をLOBリーダーに付与する



### ITチーム

デスクレスデプロイを既存のワークフローに組み込むことで、規模拡大をサポートする



### オペレーションチーム

日常業務の機能性を改善し、効率性、生産性、収益性を向上させるための戦略的計画を開発し、実施する。



### エンドユーザ

様々なデスクレスシナリオでデバイスを導入し、エンドユーザやLOBの管理費を抑えつつ、生産性を向上させる



他のソフトウェア導入同様、ソリューションの購入や実施などさまざまなチームが関与し、ひとつのチームが一括して担当する場合がありますが、異なる場合は、各レベルで組織の成功を確実にするために、それぞれが思慮する必要があります。



バイヤーは一般的にビジネスをサポートするハードウェアやインフラソリューションの評価、推奨、開発、導入において、部門横断的なチームを管理・リードする責任を負います。



インプリメンターは、テクノロジーイネーブルメント、新しい場所（レストランや製造現場など）へのテクノロジー導入、店舗での技術サポートを担当します。



Jamfは、デスクレステクノロジー導入における、バイヤーとインプリメンターのニーズおよび共通点を把握しており、弊社の専門知識を基に、導入について、技術的な相互作用について、組織に最適なソリューションの見つけ方について、関係者を支援。

# Jamfは、導入直後からデスクレスのユースケース全体に渡り、モバイルデバイスを強化。デスクレスワーカーを取り巻く環境を変革し、彼らの仕事をサポートします。

## デバイス管理

作業デバイスが常に利用可能で適切に構成された状態で提供されるように、デバイスとアプリ管理を自動化および拡張します。



## セキュリティ

セキュアな設定を確立、維持し、ワークフローにIDを組み込んで重要なビジネス情報へのアクセスを高速化。同時にゼロトラストセキュリティポリシーを実施します。



## 拡張機能

JamfのAPIフレームワークを使用して既存のプラットフォームやワークフローと統合、あるいはJamf MarketplaceからプレビルドソリューションでJamfのパワーを拡張し、従業員と彼らの仕事をより密接に結びつけます。



## エンパワー

デスクレスワーカーを顧客や業務に不可欠なLOBアプリとシームレスに結びつける、きめ細かく調整された最新デバイスで彼らの生産性を最大限に高めることが可能。



## 役割ベースのプロビジョニング

デバイスに触れることなく、役割に応じてデバイスを構成。チームはデバイスの位置検索、管理、セキュリティを実施し、ユーザがデバイスの状態を即理解できるようにホーム画面をカスタマイズすることが可能です。



## 共有デバイスのサポート

画一的に設定されたデバイスを使う場合、ユーザにとって必要がないアプリや業務の邪魔になるアプリが搭載されている場合があります。反対に過度に制限されたデバイスでは、柔軟に仕事をこなすことができません。役割に応じてあらかじめ構成されたデバイスの場合、各ユーザが必要とするアプリだけが搭載されているため、パーソナライズされた体験を提供することができます。



## コンプライアンスとセキュリティ基準の遵守

セキュアなベースラインを確立し、ワークフローを活用してデバイスのコンプライアンスを検証。高度な脅威からデバイスを保護しながら、CISベンチマーク、PCI DSS、HIPAAなど、組織のセキュリティ基準や規制のフレームワークに合わせてデバイスを保護します。



## コンテンツフィルタリングとデータ使用上限の設定

セルラーデータの消費量を管理し、ワークデバイスでアクセス可能なデータをコントロール。



## 業界および技術専門家

Jamfの業界および技術専門チームは、お客様の組織と協力しながら、幅広い専門知識とリソースを提供し、お客様のニーズに最適なソリューションを見つけるお手伝いをいたします。



# モバイルテクノロジーが業界を変革し続ける中で、JamfはiPhoneやiPadのような最新デバイスを従業員がより活用できるようイノベーションをサポート。

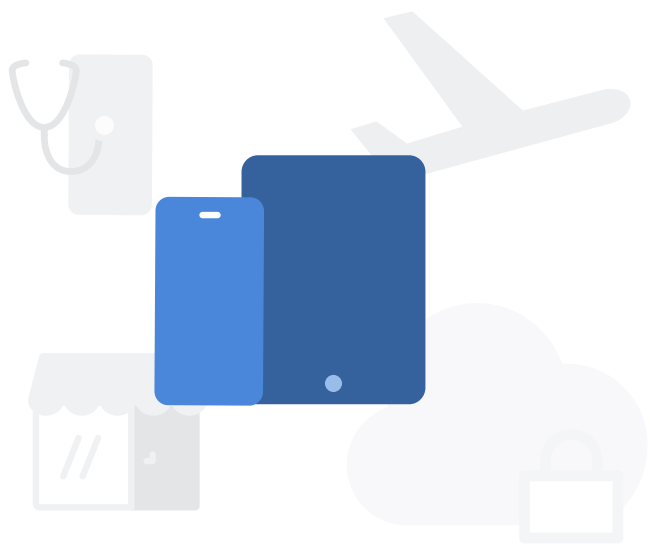
企業様が、モバイルファースト&タスクベースの役割を担う労働者に、シンプルで安全なカスタマイズ体験を提供することを可能にします。Jamfの専用ソフトウェアにより、これらのチームが選択したデバイスは、従業員のエクスペリエンスを向上させ、ビジネス成果を最適化することができます。

## 結果：

- 小売の店員はカウンターに立つ必要がなくなる。
- パイロットは物理的なフライトプランを携行する必要がなくなる。
- 患者はベッドに寝たまま、ケアチーム全員とやり取りできる。
- など・・・。

## Jamfを利用するメリット：

- Appleのネイティブフレームワークを拡張し、Appleファースト、Appleベストの体験を提供。
- エンドユーザのタスクを中断することなく、OTA管理とセキュリティタスクを実行。
- ITワークフローや冗長なプロセスを簡素化し、管理を効率化。
- 効率的で信頼性の高い技術を求めるエンドユーザのニーズをサポートし、より良い業務遂行を支援。
- 製品の機能性の進化に合わせて、最高のパフォーマンスと機能性を提供。
- 最新OSのリリース時に互換性と信頼性を約束。
- 業界のエキスパートによるサポートで、お客様のニーズに最適なソリューションを発見。



Jamfで業務に必要なツールの管理やセキュアな運用を行い、業務をシンプルにしませんか？

## トライアルに申し込む



[www.jamf.com/ja/](https://www.jamf.com/ja/)

© 2024 Jamf, LLC. All rights reserved.

詳しくはJamf担当者にお問い合わせいただくか、  
販売代理店にお問い合わせください。